

同時
開催



CONNECT ⇄

塙保己一：おどろきの『群書類従』！

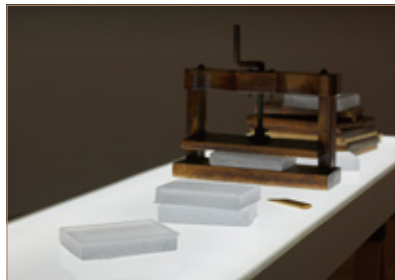
宮永愛子：公孫樹をめぐる Rond

2021.11.30.火 - 12.19.日

京都府立図書館

塙保己一：2Fナレッジベース
宮永愛子：B1F 1F

月曜日休館(12月6日、13日) | 平日9時半 - 19時、土日祝9時半 - 17時 | 入場無料



上 『群書類従』 版木群、塙保己一史料館（東京）
©大塚敬太+稲口俊太

下 塙保己一 銅像 | ©大塚敬太+稲口俊太

上 宮永愛子《Strata》2018-19 | 写真：木奥恵三
©MIYANAGA Aiko | Courtesy of Mizuma Art Gallery

下 初代宮永東山《公孫樹文花瓶》1908
京都府立図書館蔵

京都府立図書館は1909年に岡崎公園内に創建された、日本国内でもっとも長い歴史を持つ公立図書館の一つです(2001年にリニューアル)。当初、この図書館には「陳列室」があり、1933年に大礼記念京都美術館(現在の京都市京セラ美術館)が開館するまで、美術等の展示機能を担ってきました。今回、その記憶を想起すべく、文化庁主催の、社会包摂と新進芸術家育成の二事業に関わる展覧会を同時開催するものです。「おどろきの『群書類従』!」展は、江戸時代後期の全盲の学者・塙保己一(1746-1821)と、彼が日本の歴史・文化を後世に残すため40年にわたって編纂・刊行した叢書『群書類従』の業績を、その版木や映像を交えて紹介します。「宮永愛子 公孫樹をめぐるRond」展では、開館時からこの図書館にある、陶芸家・初代宮永東山(1868-1941)の手になる《公孫樹文花瓶》(1908)を起点に、そのひ孫にあたる現代美術家の宮永愛子が新作・近作を交えたインスタレーションを館の内外で展開します。建物自体や旧館時代の家具を生かした二つの展示の交響にご期待ください。

塙保己一 | はなわ・ほきいち
1746-1821

武蔵国(現・埼玉県本庄市)生まれ。7歳で失明。学問の道を志し、卓越した記憶力と知力、官民の厚い支援体制のもとに叢書『群書類従』全666冊を出版。全国に散在する古典や歴史の書を集めて編纂し、桜木の版木を用いた出版事業である。34歳で着手、74歳で完遂。前人未踏の地を切り開いた。最晩年、盲人最高位の総検校職。

宮永愛子 | みやなが・あいこ

1974年、京都府生まれ。現代美術家。東京藝術大学大学院修士課程修了(先端芸術表現専攻)。気配の痕跡を用いて時を視覚化する作品で注目を集める。文化庁新進芸術家海外研修制度により、2007-08年にイギリス・エジンバラに滞在経験を持つ。おもな受賞歴に、第70回芸術選奨文部科学大臣新人賞(2020)。

「CONNECT⇄」は、文化庁が京都国立近代美術館と共催で、岡崎公園を中核に展開する、「アートを通じて多様性や共生社会について考えるプロジェクト」です。2020年度にスタートし、二度目となる今年度は12月2日から19日をコア期間として開催するものです。「DOMANI・明日展」は、文化庁が半世紀以上にわたり継続してきた「新進芸術家海外研修制度(在研)」の成果発表の機会として、1998年以降、おもに東京で開催してきたリニューアル展です。24回目の今年度は、全国5会場で行います(水戸、京都、広島、石巻、愛知)。京都会場は「and DOMANI」企画として、「CONNECT⇄」にコラボレーションします。



CONNECT⇄



DOMANI・明日展



新進芸術家海外研修制度

関連事業

全盲の学者 塙保己一の生涯
～不可能を可能にした人～ | オンライン配信

講師：齊藤幸一氏
公益社団法人温故学会(塙保己一史料館)

12月4日(土)より、CONNECT⇄_サイトおよび当館ホームページからご覧いただけます。

イベントや本展の最新情報は、展覧会サイト等でご案内していきます

京都府立図書館

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町
TEL 075-762-4655
<https://www.library.pref.kyoto.jp/>

地下鉄：東山駅から徒歩10分

市バス：
「岡崎公園美術館・平安神宮前」
「岡崎公園ルームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ



感染症拡大防止対策にご協力をお願いします

- ① 37.5度以上の発熱がある方は入場できません。
- ② マスクを必ず着用してください。着用されていない場合は入場できません。
- ③ 各階、会場入口での手指消毒、こまめな手洗いに協力願います。
- ④ 咳エチケットにご協力願います。

